

基本理念

機能性

- ・市民にとって使いやすい快適な空間
- ・職員が働きやすい効率的なオフィス
- ・将来の社会情勢に柔軟に対応できる汎用性の高い空間構成とする
- ・敷地条件を生かした効率的な動線計画と配置計画による敷地の有効活用

安全性

- ・防災拠点施設として、大規模災害にも耐え得る構造・機能を有し、業務の継続性を考慮した庁舎
- ・液状化対策等、地盤条件を踏まえた合理的で安全性の高い庁舎

経済的・持続性

- ・機能的でコンパクトな庁舎とすることで、建設コストと維持管理コストの低減を図る（ライフサイクルコストの縮減）
- ・環境に配慮し、維持管理コストを抑えた持続性の高い建築設備

地域性・下田らしさ

- ・開国のまちとしての歴史・文化を伝えられる、市民が誇りと愛着を持てる庁舎
- ・市民や地域の“交流”により下田らしさを表現
- ・豊かな自然など地域資源を生かす

基本設計のテーマ・コンセプト

「開国のまちにふさわしい市民に開き広く集まる市庁舎」

『市民が広く集まるような使いやすい市庁舎』

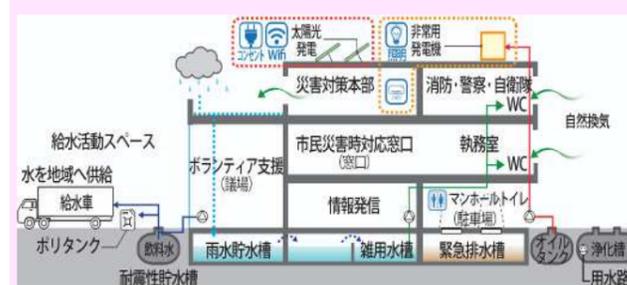
- 市庁舎と中学校敷地をつなぐプロムナード
- 安全な車両アプローチ
- 利便性を高める3層庁舎
- 周囲の環境に配慮した低層庁舎
- 国道や市庁舎としての顔づくり
- 市民利用やプライバシーに配慮した窓口配置
- 子どもから高齢者に対応するユニバーサルデザイン
- 将来改変にも対応可能な執務空間



『安心・安全の象徴となる市庁舎』

- 低層建物に最適な 類耐震構造
- 7日間持続可能な庁舎
- 給排水インフラを考慮した災害対策
- 中学校施設と一体となった防災拠点づくり
- 様々な災害を想定した庁舎
- 日常の中で防災情報を発信

構造形式	免震構造	制震構造	I類耐震+床免震
構造図			
低層建築への適正	△ 軽量建物は工夫要	△ 中高層建築向き	○ 適している
地震時の構造被害	○ 無被害～軽微	○ 無被害～軽微	○ 無被害～軽微
地震時の重要室被害	○ 建物	△	○ 床免震対応
コスト	△ 1.3	△ 1.2	○ 1.0
工期	△ +2月	○ ±0	○ +0



『下田の地域性を活かしたエココンパクト市庁舎』

- 低層化による共用部の面積縮減
- 低層鉄骨構造採用によるコスト縮減
- 将来負担の少ないメンテナンス庁舎
- ZEBready (50%) を目指す環境配慮庁舎
- 耐用年数の確保、塩害対策
- BEMS (IoT+総合監視システム) の採用

	3層	4層 (基本計画案)
ボリューム	コア面積 150㎡	コア面積 150㎡
フロア面積	4,300㎡	5,000㎡ 市民会館8案規模通り
共用面積	合計1,300㎡	合計1,600㎡
外壁面積	2,150㎡	3,000㎡
イニシャルコスト	○	△
ランニングコスト	○	△



『下田の文化を広く取り入れた市庁舎』

- 下田の自然と調和する庁舎
- 市民の交流の場となる多目的市民エリア
- まちと市民に開く「開放型議場」
- 下田の地場産材を活用
- 下田のモチーフを活用したデザイン
- 花に包まれた風待ちテラス
- 山の稜線と調和した建物デザイン

